

ハピハピっちはステキだね。うらやましいな。だって、「ハッピー」のおとどけがかりだもん。ハッピーをたくさんもっている人からおすそわけしてもらって、ハッピーが足りない人におとどけすること、その人をハッピーにできるんだもん。すごいよね。みんなをハッピーで元気にすることができるハピハピっちがそばにいてくれたら、いいだろうな。

わたしのおばあちゃん、は七十二才で一人ぼっちでくらしている。二年前にはいいという体のぶ分にガンができてしまって、手じゅつをしないといけなかった。おばあちゃんがひょう気だと聞いてからママはずっとないてばかりで、え顔をわすれたみたいだった。やっ手じゅつがせいこうしたあとも、おばあちゃん、

んは、

「きずあとがいたい。」

「ごはんがおいしくない。」

「かたがいたい。」

と、いつもつらいことばがリロにしている。

「遠くにすんでるから何もしてあげられない。とママは、また毎日、暗い顔をしている。ママが暗い顔をしていると、家の中から太ようがなくなっ、たみたいで、家ぞくみんなの元氣もなくなっ、てしまう。

こんなときこそ、ハッピーハッピー、ちがそばにいてくれたらなあと思うんだ。

わたしは、元氣でいっぱいあそんでいるし、ごはんもおいしく食べられるから、毎日、ハッピー。だから、わたしのハッピーをどうか

おばあちゃんに、とどけてください。それで、おばあちゃんがハッピーになっ、てくれたらうれしいな。おばあちゃんがハッピーになっ、たら、きっとママもハッピーになれると思うよ。そうしたら、家ぞくみんなが、ハッピーになっ、て元氣がとりもとける。

わたしの家ぞくのハッピーを、つぎは世界中のくるしんでる人たちにとどけてほしいな。だって、テレビを見ていると、せんそうや食べるものがなくて、つらい人がたくさんいるか

ら。ハピハピっちがハッピーをとけて、世
界中の人々がハッピーになれるといいね。そう
したら、みんな元気百ばい、ハッピーは千ば
い、一万ばいにふえるよね。そんなすてきな
ハピハピっちの「ハッピーのおとけ」がかり
を、わたしもお手つだいしたいな。